三年先の稽古

学校だより
発行：校長　益子　朗

健闘！熱走！駅伝チーム！

異例づくめの今年度ですが、初の駅伝大会は、コロナ危機ゆえ「駅伝」ではなく、「予選会」でした。いわなの陸上競技場中田トラックで、それぞれの区ごとに、場所を決めるという方法です。８月31日（月）には選手壮行会を行いました。

レースを行い、その合計タイムで県大会への出場を決めるという方法です。

襷をつなぐことはできませんが、それぞれの選手が、区間で頑張ってもらおうと、全校生で応援をしました。信中生らしい心の大きな応援ができたことでしょう。

女子チームの力走

その予選会は９月２日（水）、白河市陸上競技場で行われました。女子は５区間（３Km）、男子は６区間（３Km又は２Km）、それぞれトラックを周回する方式のレースです。

大信中チームは、女子は第16位、そして男子は第８位でした。残念ながら県大会出場権（４位以内）は得られませんでしたが、なんと男女とも走った**全員が自己ベストを更新**するという素晴らしい頑張りでした。そして、

男子５区　杉本将太選手は、区間１位でした！

これは昨年、高校の陸上部から注目されていた髙橋充左選手（現・ふたば未来高校）の区間２位を上回る快挙です。本来の大会であれば、杉本選手は区間賞、男子チームは８位入賞となりますが、今回は異例の予選会ということで、表彰はありません。

選手の皆さん、いまだ生い茂る暑い中での練習、お疲れ様でした。

男子チームの力走

修学旅行・学習旅行の参加に当たって

いよいよ来週は３年生の修学旅行、１・２年生の学習旅行です。コロナ危機の中、何とか実現に向けて準備をしていますが、**事態の急変によっては変更や中止の可能性もあります**ので、どうかご承知おきください。

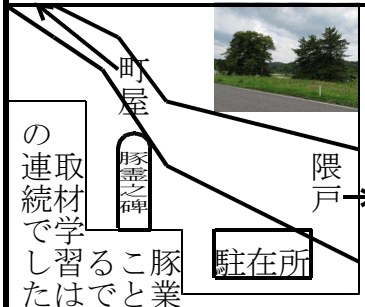
また出発までは、万が一にも新型コロナウイルスに感染したりしないよう、不必要な外出や接触を避けるなど十分に気をつけましょう。そして、もし発熱や咳、倦怠感、味覚障害など、疑わしい症状があった時は、迷わず直ちに学校にご連絡ください。

世間では、感染者や濃厚接触者、医療関係者への、心ない「コロナいじめ」などというものもあるようですが、「あったか大信中」にはそんなものはないと信じています。どんなに用心していても、かかってしまう場合もあります。ですから、どうか**体調に異変があれば、自分もみんなも守るために、ご連絡ください。**

校長のつぶやき

防災学習では、私も初めて知った事実がたくさんありました。例えば、８・２７水害では殆ど被害がなかったと思われていた赤坂地区では目の前の中新城地区・下新道路を越えた水が、没し村側にて天山から流れ出た面白かわ方矢にやって栄をたどり、追い込まれたとのこと。

また、当時の消防団の方からお話を伺いにがだいつまでも盛んだったというお話も、目から鱗でした。



偶然にも二本カヤの向かい側に発見しました。「豚霊之碑」というのを発見しました。大信中が開校して２年後の昭和45年に、当時の農林大臣が建立したものです。

いうことは恥ずかしながらよく知りませんでしたが、地域調査中に、この地域で養豚業が盛んだったと言えることの証しとなるでしょう。

取材学習は、新たな発見の連続でした。